

令和7年5月 静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場ニュース

定置網に船上で漁獲情報を市場等と共有できるシステムを導入

令和7年3月、水産振興課と当場は、伊東市富戸の大型定置網で漁獲した魚種や量の情報を、漁業者が操業直後の船上から市場関係者や仲買人、飲食店等と即時共有できるシステムを導入しました。これは、漁業者が「ブリ3トンを伊東魚市場に水揚げ」といった情報をスマートフォンのマイク等に喋ると、AIが音声を図表に変換して表示するシステムで、船上でも手入力の手間を最小限に抑えて情報を分かりやすく共有することができます。

大量に水揚げがあると、市場や仲買人は売り先が確保できず、値崩れしてしまうことが多々ありますが、本システムで事前に漁獲情報が得られれば、より早く飲食店等と取引の相談をしたり、別の取引先に購入を打診できるため、課

題解決につながることを期待されます。



←船上での音声入力の様子

漁獲物の図表例
(スマートフォン
等で閲覧可能)



白浜でワカメ増殖活動

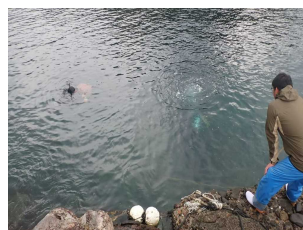
白浜漁業管理組合では磯焼け対策としてカジメの移殖作業を実施しています。今回（４月１０日）、ワカメの増殖を目的とした遊走子の散布を行いました。

採取したワカメの「めかぶ」を陰干しした後、海水を満たした水槽に収容して遊走子を放出させました。その海水を潜水によりワカメの生育を期待する海域に散布しました。また、残りの「めかぶ」はカゴに入れ、同海域に設置しました。

今回の活動により冬場にワカメが生育することを期待しています。



↑ 遊走子放出作業



↑ 潜水により遊走子散布

解説：ワカメの根元の部分にできるヒダ状のものを「めかぶ」と呼び、「めかぶ」から植物の種のようなもの「遊走子」が放出される。



↑ 活魚トラックから稚魚を取り出す様子



↑ 育成水槽内のヒラメ

5月の予定 ● 潜水調査（仁科、雲見、稲取） ● イセエビ測定（田牛、下流） ● 県漁業士会役員会（16日 静岡市） ● 伊豆地域栽培推進協議会（19日伊東） ● 下田高校研修（23日） ● 県定置網漁業協会総会（23日） ● 技術連絡協議会（29日浜名湖）

連絡先：静岡県水産・海洋技術研究所伊豆分場 〒415-0012 下田市白浜251-1 電話：0558-22-0835

アドレス: suiqi-izu@pref.shizuoka.lg.jp ホームページ: <https://fish-exp.pref.shizuoka.jp/izu>

当場には、自由に見学できる展示施設があります。皆様のお越しをお待ちしています。